

平成29年度 学校評価(本校教職員による中間評価)の全体考察

全体的に昨年度末の学校評価より改善傾向にある。昨年度からの反省を受け、取り組んだ成果と受け止めている。次の目標を設定し、数値には表れない部分を含め、指導・支援を見直していきたいと考える。特に、子どもの特性や適性等を発見し、さらに伸ばすための指導・支援、交流及び共同学習や校外学習をとおして、個々の学習とともに、社会的なマナーやルール等を身に付ける学習機会等を学校、学部、学級やホームルームで充実させていきたい。

子どもたちへの指導・支援を第一に考えながら、中・長期的な視点を持って、行事や勤務内容等について、時期や方法等の見直しを図り、職員の勤務態勢についても見直しを図りたい。

経年のため施設・設備のメンテナンスが必要になってきた。その他にも整備が必要な箇所がある。大学と連携し、整備に努めていきたいと考える。

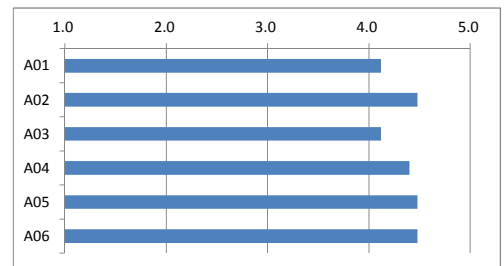
平成29年度 学校評価(本校教職員による中間評価)の結果と考察

・11月に実施した教職員による学校評価(中間評価)の結果をグラフ化しました。
・<考察>には、12月～3月における主な改善や次年度に向けた検討の方向性を挙げました。

■ 教育課程・学習指導

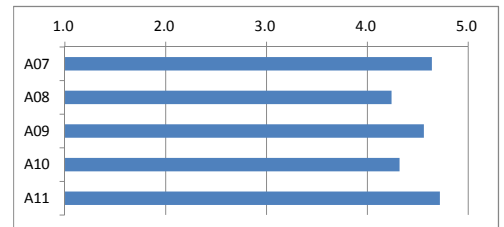
○ 教育課程等の状況

- A01 本校の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員の理解の共通化
- A02 児童生徒の教育的ニーズを把握し、それを踏まえた取組
- A03 体験活動、学校行事などの管理・実施体制の整備
- A04 教育的ニーズに応じた指導体制の整備、適切な授業時数の配当
- A05 個別の指導計画や週案などの作成
- A06 個別の教育支援計画に基づく幼保小連携、小中連携、中高連携、高等部から就労先等の連携



○ 授業の状況

- A07 視覚情報を中心とした説明、板書、発問などを工夫した授業づくり
- A08 視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の活用
- A09 ティームティーチング指導などにおける教員間の協力的な指導
- A10 児童生徒の学習に適した環境の整備
- A11 授業や教材の開発に大学や地域の人材などの外部人材を活用し、よりよいものとする工夫

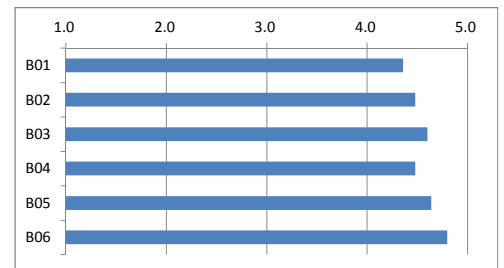


<考察>

・前年度と比較し、A03の項目が上昇した。削減した行事があったが、それに代わる日常的な取組も始まった。学校間、地域との交流及び共同学習も充実した結果と考えられる。子どもが身に付けた力を校外で発揮できるよう、一人一人の学習の道筋を本人やご家庭とともに評価し、教育課程の改善を図っていきたい。
・校内無線LANの環境が整った。ハード面・ソフト面の充実とともに、ニーズに沿った活用を図っていきたい。

■ 進路指導

- B01 学校の教職員全体として進路指導に取り組む体制の整備
- B02 児童生徒理解に必要な個人的資源や、進路情報についての収集・活用
- B03 児童生徒の能力・適性等を発見するための工夫
- B04 適切な勤労観・職業観など主体的に進路を選択する能力・態度の育成のための指導
- B05 保護者や地域社会、企業等との連携協力
- B06 就業体験の計画的な実施



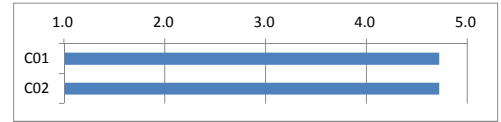
<考察>

・これからも小学部から各学部段階に応じて、進路希望や働くことを中心とした生活を具体的に考えられるようにしていくことを大切にしたい。そのために、子どもが自分自身の生活と結びつけながら学習ができるようにしていきたい。また、その様子をご家庭と一層共有し、子どもの将来の生活に向けた支援を充実していきたい。
・前年度と比較し、B03の項目が上昇した。今後も子どもたちの自己選択・決定を大切にしながら、得意なことを伸ばしたり、発見したりするとともに、力が発揮しやすい状況等を見付けられるようにしていきたい。
・進路に係る情報掲示板を設置することをPTA進路対策部とともに検討したい。

■ 生徒指導

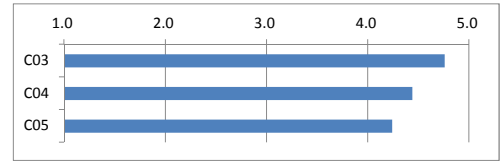
○ 生徒指導の状況

- C01 学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制の整備
- C02 保護者や地域社会、関係機関等との連携



○ 児童生徒の人格的発達のための指導の状況

- C03 保護者と連携協力して児童生徒が基本的な生活習慣を身につけさせるための工夫
- C04 児童生徒の適性を発見し能力を引き出し、それを発揮できるようにするための工夫
- C05 社会の一員としての意識(公平、公正、勤労、奉仕、公共心、公德心や情報モラルなど)についての指導

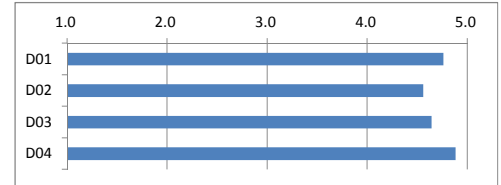


<考察>

・昨年に続き、C05の項目がやや低い。社会の一員としての意識や男女の違い、適切な行動やかかわり方等は、校内での生活はもちろん、校外学習や交流及び共同学習等、校外での活動場面で確かめることができる。校外で見られた姿を校内での学習に生かし、校外でさらに発揮できるよう指導や支援を行っていききたい。
 ・自力登下校の様子をご家庭あるいは放課後等デイサービス等とさらに共有し、指導や支援を充実したい。

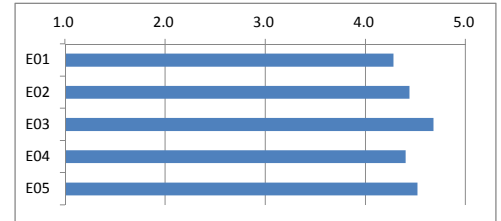
■ 保健管理

- D01 児童生徒・保護者を対象とする健康に関する指導・相談の実施
- D02 家庭や地域の医療機関等との連携
- D03 法定の学校保健計画の作成・実施
- D04 日常の健康観察や、疾病予防、児童生徒の自己健康管理能力向上のための取組、健康診断の実施



■ 安全管理

- E01 学校事故等の緊急事態発生時の対応
- E02 家庭や地域の関係機関、団体との連携
- E03 法定の学校安全計画や、学校防災計画等の作成・実施、体制整備
- E04 危機管理マニュアル等の作成・活用
- E05 安全点検(通学路の安全点検を含む)や、教職員・児童生徒の安全対応能力の向上を図るための取組

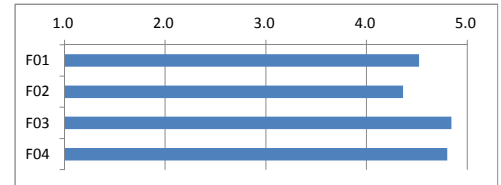


<設問D・E 考察>

・基礎体力の向上に向けた日常的な取組が積極的に始まり、子どもの行動の変容とともに、中・高では体組成にも変化が見られつつある。各部の取組の成果を共有し、他学部にも取り入れたり、行事等との関連から実施時期や内容をさらに改善したい。
 ・今年度は4回健康相談を実施した。今後も活用していただけるよう計画したい。
 ・危機管理マニュアルや避難訓練の想定が、現実の場面で生きるのかという視点から見直しを行う。校内、三校園共同のみならず、みぎさ中学校や周辺地域との連携も考えたい。
 ・メールシステムを導入したことにより、早朝や夜間を含む連絡が速やかになった。今後も活用を図りたい。

■ センターの機能

- F01 計画的な公開講座の開催と運営
- F02 校外の研修会等への講師の派遣
- F03 校外からの教育相談への対応
- F04 専門性を生かした教育相談の実施

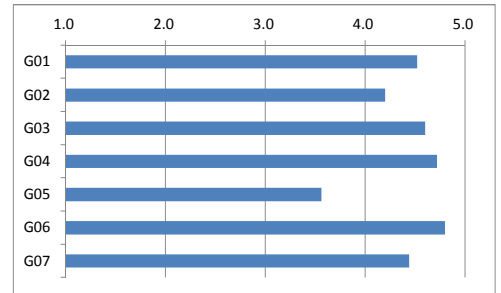


<考察>

・附属小学校担当と連携し、当初より計画していた教育相談、放課後セッション、研修講座等は実施できている。研修会等への講師派遣等、周知が十分でない業務があるので、研修会の際やホームページ等で発信できるようにしていく。

■ 組織運営

- G01 管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップ、また、他の教職員からの信頼
- G02 校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、学校の明確な運営・責任体制の整備
- G03 教員会議、運営委員会、学部会等の計画的な運営
- G04 学校の財務運営(学校が管理する資金の予算執行に関する計画、執行・決算・監査の状況等)
- G05 勤務時間管理や職専免研修の承認状況等、服務監督
- G06 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理、また、教職員への情報の取扱方針の周知
- G07 学校運営のための諸事務等の情報化

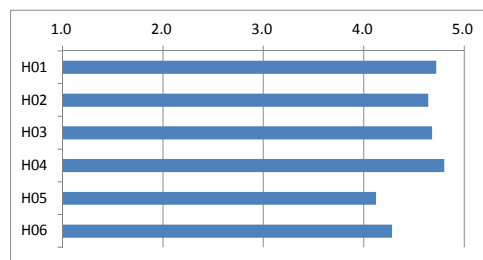


<考察>

・G05の項目が低くなっているが、前年度比較では改善しつつある。働き方改革が急務と言われる中、保護者の皆様のご理解を得られるようにしつつ、行事を含む教育活動等の内容や時期、実施の有無、校内体制等の見直しを図るとともに、職員の働き方に対する意識の変容を促し、引き続き改善を図りたい。
 ・諸事務に係って情報化を一層進める必要がある。個人情報の取扱いについてより一層注意をしていく。

■ 研修

- H01 授業研究の継続的实施など、授業改善の取組
- H02 校内における研修の実施体制の整備
- H03 校内研修の課題の設定
- H04 校内研修・校外研修の実施・参加
- H05 臨時採用・非常勤講師等の非正規採用教員の資質の確保・向上に向けた取組
- H06 指導や支援に対する不安や悩みを話し合い、協働的に指導や支援を充実する取組

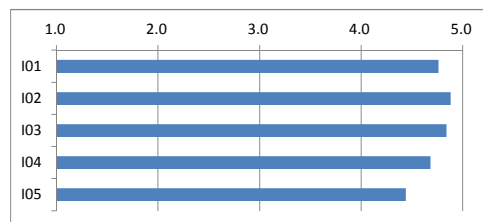


<考察>

- ・6月の公開研、11月の授業公開を軸に、校内研修としても計画的に授業研究会を実施した。今年度残る期間も授業研究会を実施し、全体的な指導力の向上を図っていく。
- ・他附属公開研、県内研修会、学会等に参加する機会を多く設けた。そこで得たことを全職員に伝達することで、新しい情報や県内外の動向を知る機会となるようにしてきた。今後も日々の子どもたちへの指導や支援に生かせるようにしていきたい。

■ 情報提供

- I01 学校に関する様々な情報の提供
- I02 学校公開の実施
- I03 児童生徒の個人情報の保護
- I04 学校便りや学級便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供
- I05 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫

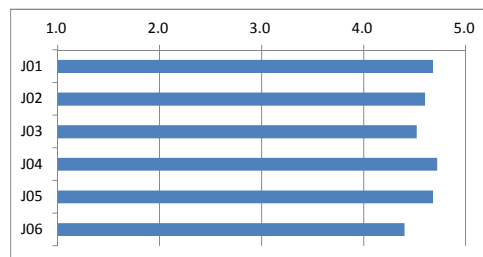


<考察>

- ・11月に授業公開を行った。多くの方に学校全体の様子を見ていただく機会となったと考える。次年度も計画したいと考えている。
- ・学校、各部等のお便りを定期的に発行するように努めた。各行事や下校時刻の変更等、必要な連絡が遅れることもあったので、早めの発行を心がけたい。
- ・ホームページでの情報発信を始めた。現状は十分とは言えないが、今後も継続したい。

■ 保護者、地域住民等との連携

- J01 学校運営への保護者、地域住民の参画及び協力
- J02 地域住民から寄せられた具体的な意見や要望の把握・対応
- J03 学校開放などの実施
- J04 学校評議員やPTA(保護者)との懇談の実施状況や学校運営協議会の運営
- J05 保護者、地域団体との連絡の充実
- J06 地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用



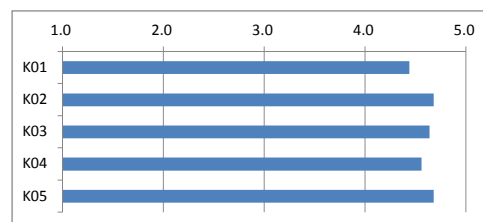
<考察>

- ・フラワーロード、まちなか・校内カフェ、公園の整備活動、まちなかジョギングなどにより、本校の教育活動が周辺地域の方々に見える形になり、その結果、地域の方々の声が本校に届くようになってきた。今後も地道に活動を重ねていきたい。
- ・附属小学校、みずき中学校、勢多農林高校等との交流及び共同学習、居住地校交流の継続と充実を図りたい。
- ・周辺地域との関係が深まりつつある中で、地域の行事に参加する機会も検討していきたい。

■ 教育環境整備

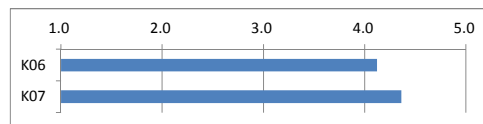
○ 施設・設備

- K01 施設・設備の活用(余裕教室、特別教室等の活用を含む)
- K02 大学と連携した施設・設備の安全・維持管理のための点検の取組
- K03 大学と連携した施設・設備の安全・維持管理のための整備(耐震化、アスベスト対策を含む)
- K04 大学と連携した多様な学習内容・学習形態などに対応した整備
- K05 大学と連携した学校教育の情報化



○ 教材・教具等

- K06 大学と連携した教材・教具・図書の整備
- K07 大学と連携した学習・生活環境の充実のための取組



<考察>

- ・無線LANを整備することができた。子どもたちの学習にICT機器をさらに活用できるようにしていきたい。また、東校舎裏フェンスの整備を行うことができた。安心して安全な教育環境づくりを第一に考え、引き続き大学と連携し、施設・設備、教材・教具の整備を進めていきたい。